

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	薬のセット間違い、服薬忘れ、服薬間違いが続いている。会議で話し合っても続いているため、薬の重要性を全職員が理解し、事故が起こらない体制を整える必要がある。	薬の重要性を全職員が理解し、間違いなく服薬介助できるようになる。	①薬チェック表を見直し、セットした職員・服薬介助した職員を記録し、服薬の責任を持たせる。 ②薬の重要性を理解できるよう、入居者の薬と疾病に対するマニュアルを整備する。	6 か月
2	33	精神的ケアが必要な利用者への処遇がうまくいかないことがあり、逆に混乱させてしまうことがあった。日々を安心して快適に過ごせるようにしたい。	穏やかに安心して笑顔で毎日を過ごせるようになる。どのような不穏症状にも対応できるようになる。	①どのようなことが原因で不穏になっているか探る。また穏やかな日、不穏な日の24時間シートを付け、1日の様子を理解する。 ②どのような声かけや対応だと落ち着くのか、良かった方法を全職員が記録する。 ③良かった方法を全職員が統一して実施してみる。	12 か月
3	48	レクリエーションがまんねり化し、飽きている利用者がある。色々なレクリエーションを提供し、ホームでの楽しみを増やしていく。	色々なレクリエーションを実施し、利用者に楽しんでもらい、充実し活気ある時間を提供する。	①レクリエーションを増やせるよう、他の部署・事業所に聞いたり、調べてみる。 ②利用者が昔していた遊びを教えてもらったり、したいことを聞き、希望に沿ったレクリエーションを行う。 ③普段しているレクリエーションでも音楽をかけたり、いつもと違う雰囲気の中で行う。	12 か月
4					か月
5					か月